

令和7年度第3回理事会議事録

1. 日 時：令和7年12月11日・木曜日 15:30～16:20
2. 場 所：一般財団法人機械振興会館 6階61号室
3. 出席者：丸山副理事長【オンライン】、三木副理事長、坪田専務理事、山田(誉)理事、二瓶理事【オンライン】、田中理事【オンライン】、中川理事【オンライン】、北川理事、山口理事【オンライン】、宮本理事、治田理事、山田(昌)理事、加藤監事、青木監事
欠席者：山田理事長、吉田理事、吉澤理事、杉浦理事、番所理事、滝本理事、辻理事
オブザーバー：(株)アイシン・服部信宏氏 [順不同]
事務局：村上事務局長

4. 議事の概要

村上事務局長から、本日の出席状況について理事19名中出席12名の出席により理事過半数出席として会議が成立した旨の報告がされた。なお、当日は山田理事長が欠席であったため、次いで三木副理事長より開会の挨拶が行われた後に審議に入った。

第1号議案 令和7年度上期決算報告について

村上事務局長より、配布資料に基づき報告が行われた。上期における定常的な経費執行は例年と同水準で推移している一方、サイバーセキュリティー対策に伴うWindows11対応パソコンへの入替、および入替に伴う経理ソフトのサブスクリプション化へ移行、自機工WEBサイト管理ページ（WordPress）のバージョンアップ等の一時的費用が発生していることを説明。また、10年に一度の「JAMTA」マークの商標権更新に伴う手数料およびオートサービスショー出展費用も計上されているが、年間の経費総額としては予算比約6万円の超過にとどまる見通しであるとの報告があった。

負担金収支は、現時点で策定予算（3,383万円）と同水準で推移しており、期中に賛助会員の新規入会が1件あったことから、年間収支は3,384万円（予算比+1万円）となる見通しである。

当期事業活動支出の収支差額は策定予算（約70万円）を約5万円下回る約65万円の収入超過となる見込みであることが説明された。

投資活動支出では、退職給付引当資産取得支出は策定予算通り 151,618 円を支出。また、展示会等積立資産の取得支出額は当初予算より約 22 万円減額した約 132 万円とし、これにより 650,113 円の支出超過とすることで、事業活動収支と投資活動収支を均衡させる見込みであることが報告された。

次いで、加藤監事より令和 7 年 12 月 5 日（金）に工業会事務局にて監事監査が青木監事とともに実施され、財務処理は、定款等関係規定に基づき適法かつ公正妥当に執行されている旨が報告された。

以上を議長が諮ったところ、一同異議無くこれを承認した。

第 2 号議案 各種報告

（1）中国海外視察団の報告（三木副理事長、村上事務局長）

村上事務局長より、令和 7 年 11 月 25 日（火）から 28 日（金）にかけて実施された中国海外視察について配布資料を元に参加者、訪問先および日程等の概要について報告が行われた。その後、国際委員長の三木副理事長より参加者に対する謝礼とともに、本視察に関する補足説明が行われた。

（2）退会予定会員の報告（村上事務局長）

村上事務局長より、退会予定正会員 1 社についての説明が行われた。

●退会希望正会員

社名	株式会社信濃製作所
代表者	泉澤 宏嘉
本社所在地	東京都板橋区徳丸 1-20-17
製造品目	工具
入会年月日	令和 2 年 4 月 14 日
退会承認日	令和 8 年 1 月予定（令和 8 年 3 月末退会見込み）
退会理由	社内事情による

以上に関し議長が質問を募ったところ、特段の発言は無かった。

第 3 号議案 その他

三木副理事長より提案事項について議長が諮ったところ、他に意見も無く、以上をもって議事を終了した。

以上、理事会の議事を証するため議長及び議事録署名人（定款により出席された正副理事長と監事）がここに記名押印する。

令和7年12月11日 一般社団法人 日本自動車機械器具工業会

議 長 三木 健太郎

議事録署名人 丸山 将一

同 加藤 弘樹

同 青木 治樹

以上